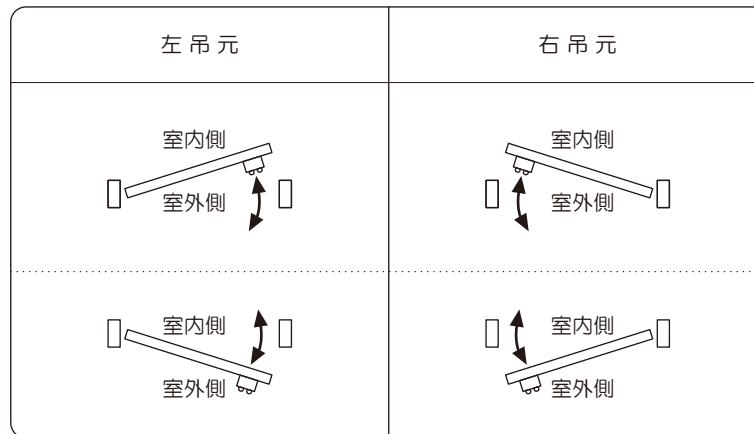


## 吊元の確認

下図で吊元を確認します。



## 記憶番号設定に関するご注意

- KL500 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。  
例) 記憶番号 1・2・3 の場合  
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）  
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
  - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
  - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。
- 他の用途への使用
  - ロックターンやサムターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
  - 製品の分解、改造はしないでください。
  - デッドラッチ（鎌デッド）を突出させた状態で扉を閉めないでください。
  - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
  - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
  - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



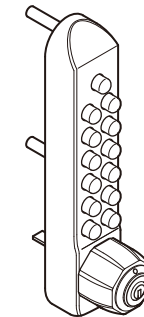
ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

# KEYLEX<sup>®</sup> 500

## 取扱説明書（施主様向）

KL500 鍵付  
MIWA  
(AD・AH/LAT・LAL/FGT)  
シリンダー取替

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。  
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22276M

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

| 〈 記 憶 番 号 の 記 録 〉 |   |   |
|-------------------|---|---|
| 年                 | 月 | 日 |
| 年                 | 月 | 日 |
| 年                 | 月 | 日 |
| 年                 | 月 | 日 |
| 年                 | 月 | 日 |
| ただ今の記憶番号          |   |   |

NAGASAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)  
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032  
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)  
FAX. 06-6783-5092

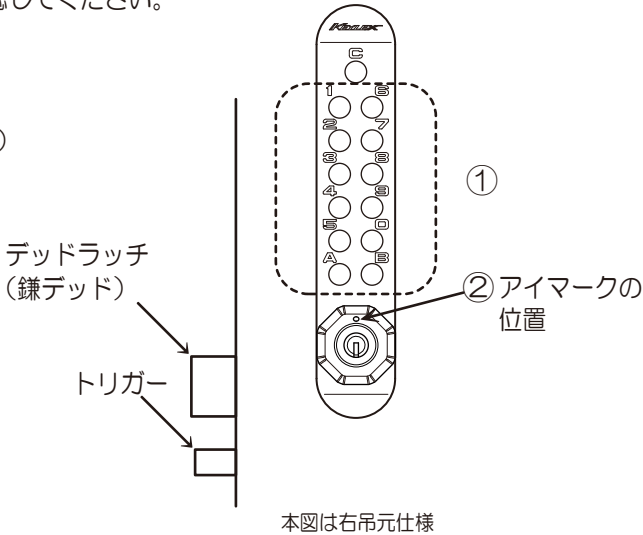
基本操作

シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に代わります。ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが 図の位置（真上）にある
- ③ デッドラッチを押すと錠に収まる（鎌デッドは錠に収まっている）  
（突き出ている場合は、ロックターンを操作して、  
デッドラッチ（鎌デッド）を正常位置に戻す）

※ 記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも  
施解錠できます。

- 【施錠】シリンダーにキーを入れ回し、  
デッドラッチ（鎌デッド）が出ることを確認します。
- 【解錠】シリンダーにキーを入れ回し、  
デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。



室内側

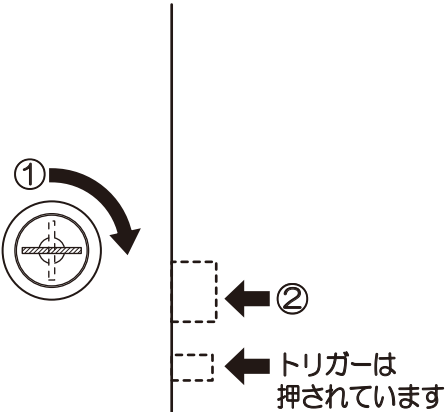
室外側

施錠

扉を閉めれば施錠されます

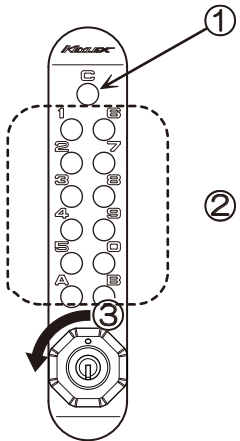
解錠

- ① サムターンを回します。  
（ない時にはレバーハンドルを作動させます）。
- ② デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。



解錠

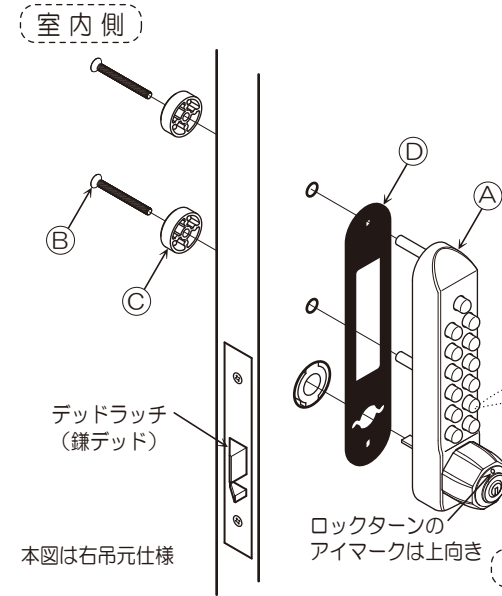
- ① C ボタンを押す：誤操作の記憶番号が解除されます。
- ② 正しい記憶番号を押します。
- ③ ロックターンを回します。
- ④ デッドラッチ（鎌デッド）が収まることを確認します。



※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

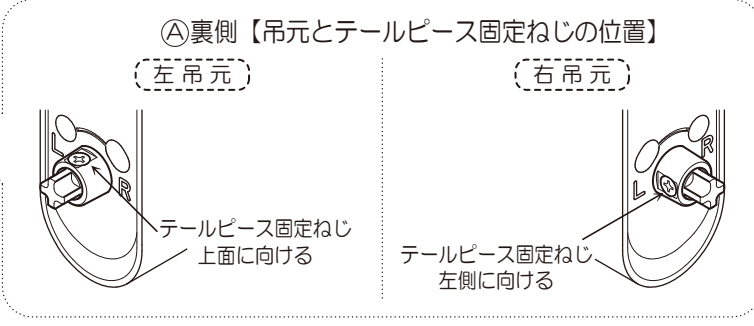
記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【１】キーレックス本体を取り外します



錠のデッドラッチ（鎌デッド）が収まっている状態で取り外します。  
取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください。

- I：① キーレックス本体の落下に注意しながら、② 本体固定ねじを外します。
  - II：③ キーレックス本体、④ 室内丸座、⑤ 樹脂ベースを取り外します。
- ※：取り付け時は、デッドラッチ（鎌デッド）は解錠状態、ロックターンの  
アイマークは上向き、テールピース固定ねじの位置は吊元（裏面参照）と  
あわせませす。



【２】記憶番号の設定変更をします。

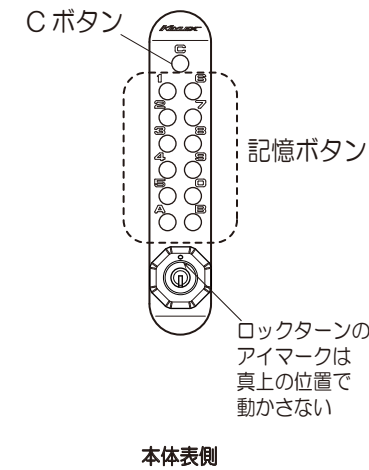
【記憶番号変更の準備】

- ① 本体表側の C ボタンを押します。

⑦まで、記憶ボタンは押さないで  
ください。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する  
場合があります。必ず押してください。

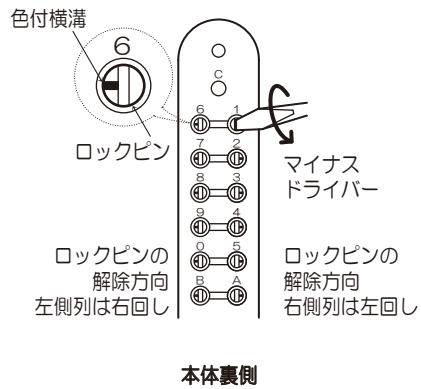
- ② 本体を裏返します。



【現在の記憶番号を解除】

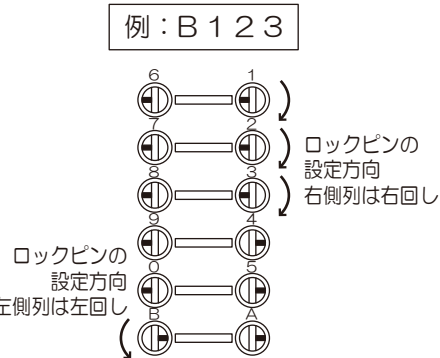
- ③ 本体裏側の、記憶されている  
ロックピンを回転させて  
記憶されている番号を解除します。  
（ロックピンの色付横溝を外向きに  
回転させる）

- ④ 本体を表側にし、ロックターンが  
左右 90 度ずつ回転する事を  
確認します。



【記憶番号の設定】

- ⑤ 新しく記憶させる番号は必ず記録して  
ください。本紙表紙に記入欄があります。
- ⑥ 本体を裏返し、記憶させる番号のロック  
ピン色付横溝を中央ライン側に合わせませす。



- ⑦ C ボタン + 新しい記憶番号を押し、  
ロックターンが解錠方向に回ることを  
確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【３】本体を取り付けます

【１】と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。  
錠のトリガーを押えたまま（閉扉と同じ状態にする為）おこないます。  
正しく作動しない場合は、記憶番号、テールピースの取り付け位置、  
吊元に合わせたテールピース固定ねじの向きを確認をしてください。